



2026 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 I B J
代表者名 代表取締役社長 土谷 健次郎
(コード番号：6071 東証プライム市場)
問合せ先 経営管理部統括 石田 明
(電話：080-7027-0983)

業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ

2026 年 2 月 13 日に公表いたしました 2026 年 12 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、当社は 2026 年 8 月 14 日開催の取締役会において、最新の事業環境を踏まえ、現時点において入手可能な情報をもとに 2026 年 2 月 13 日に公表した 2026 年 12 月期の通期連結業績予想を下記の通り上方修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 業績予想と実績の差異について

(1) 2026 年 12 月期 第 2 四半期（累計）連結業績（2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	一株当たりの 当 期 純 利 益
前回発表予想(A) (2026 年 2 月 13 日)	13,941	1,889	1,820	1,051	円 銭 27.76
実績値(B)	14,043	2,487	2,422	1,238	円 銭 32.69
増減額(B-A)	+102	+598	+601	+187	円 銭 +4.93
増減率(%)	+0.7%	+31.7%	+33.1%	+17.8%	+17.8%
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2025 年 12 月期)	9,734	1,793	1,780	1,096	円 銭 29.00

(2) 差異の理由

2026 年 12 月期 第 2 四半期（累計）連結業績につきましては、既存事業が想定を上回って好調に推移いたしました。特に直営店事業において、当社グループ会社の ZWEI が好調に推移し、業績を牽引しております。なお、親会社株主に帰属する当期純利益の増加額につきましては、2023 年 12 月 27 日付で資本業務提携契約を締結し、株式を取得した株式会社オーネットにつきまして、減損処理による投資有価証券評価損 515 百万円を特別損失に計上したことにより、経常利益の増加幅と比較して小幅なものとなっております。

2. 業績予想の上方修正について

(1) 2026 年 12 月期 通期連結業績予想数値の修正（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	一株当たりの 当 期 純 利 益
前回発表予想(A) (2026 年 2 月 13 日)	28,803	4,048	3,922	2,335	円 銭 61.68
今回修正予想(B)	28,905	4,647	4,523	2,523	円 銭 66.57
増減額(B-A)	+102	+598	+601	+187	円 銭 +4.89
増減率(%)	+0.4%	+14.8%	+15.3%	+8.0%	+7.9%
(ご参考) 前期実績 (2025 年 12 月期)	20,172	3,608	3,471	2,077	円 銭 54.89

(2) 修正の理由

2026 年 12 月期 第 2 四半期（累計）連結期間におきまして、既存事業の成長が想定を上回ったことにより通期（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）の連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、下期（2026 年 7 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）の業績見通しにつきましては、株式会社デコルテ・ホールディングスにおいて、4 月 22 日に発表した株式会社エミュ及び株式会社エミュ Lab の完全子会社化に伴う関連費用の計上などを見込んでいることから、期初における下期の計画を据え置いております。これらにより、修正後の通期連結業績予想の数値は、順調に推移した第 2 四半期（累計）連結期間の実績値に、期初に発表した下期の業績見通しを加算して算定しております。

以上